

新しい命が もう一つのいのちを救う

兵庫さい帯血バンク だより

Vol. **41**
2024 / Aug.



家族のさい帯血移植体験記

「いのちをかけて守りたい存在」

p2

臍帯血移植コーディネーターの皆様へお願い

p4

バンクの活動報告

p4

新任職員紹介

p5

理事長あいさつ

p6

第8回ハートフルコンサートご案内

p7

「いのちをかけて守りたい存在」

会社員 田中 浩章 さん

「『いのちをかけて守りたい存在はいますか?』と問われた時、みなさんは、誰のことを思い浮かべますか?」

私は、毎回、聴衆にこう問いかけ講演をはじめています。自分とは関係のない、他人の命の危機を自分ごと化して考え、必要な行動を促すのはそう簡単ではありません。お話を聞いてくださった方が、もしも自分の大切な人に同じようなことが起こったらと想像し、考えを巡らせ、必要な行動を起こしていただきたいとの思いから、こう問いかけています。

息子の血液の病気

謙智(けんち)当時4歳の一人息子は、39度オーバーの高熱を出し、かかりつけ医を受診しました。当時2回目のコロナ緊急事態宣言発令中ということもあり、“鼻腔内”に綿棒を入れ行うコロナ抗原検査を行い、陰性との判断で、お医者様に診ていただきました。帰宅後、鼻血が止まらなくなり、再度病院に駆けつけ、血液検査をしたところ血小板の値が異常に低く、その後、何度かの検査を行うも血液の状態は回復せず、骨髄検査をし、“特発性再生不良貧血”という病名の宣告を受けました。そこから「息子のいのち」をかけての病と闘いが始まりました。



入院直後の様子

最適な環境、医師のもと治療にあたりたいとセカンドオピニオンをお願いし、何名かのお医者様とお話し、“小児”の造血幹細胞移植実績が多い病院、医師のいる名古屋の病院を選択しました。大阪の自宅からは遠く離れた病院ですが、何よりも息子の病気治療に最適な環境を最優先にしての選択でした。

治療の最初のステップは、化学療法です。そして血液の状態に応

じての赤血球、血小板の輸血の日々でした。ただ、その化学療法は、期待する効果をあげていないことで、担当の医師から「骨髄ドナーを探しましょう」と告げられました。その後、何週間待っても骨髄ドナーは見つからない。そこで、次善の策として、さい帯血移植を選択することになりました。



化学療法を受ける前と後

約1年半に及ぶ治療生活と治療を待つ子どもたち



病室の子どもたちと息子

コロナ禍の入院治療生活は、約1年半に及び、その間、息子が「おともだち」と呼ぶ造血幹細胞移植を待つ子どもたちとその親、何組ものご家族との出会いがありました。移植がうまくいき、喜びの退院を果たす親子がいる一方、フルマッチの骨髄ドナーが見つかったと大喜びしたのも束の間、骨髄ドナーがコロナに感染し骨髄提供をしていただけなくなり落胆し悲しみに暮れる親子。移植をしたが、GVHDといった移植後の副作用に苦しむ高校生。2度のさい帯血移植をしたが、生着せずに悲しみの退院をすることになった4歳男児。

息子のさい帯血移植

そんな状況を目の当たりにする日々の中、息子の移植の時が迫るわけです。

患者、患者家族にとって骨髄移植であれ、さい帯血移植であれ、その医療的行為を選択することの恐怖は計り知れないものです。目の前に座る医師、看護師、隣に座る妻の視線を感じ、震えながらボールペンを動かし造血幹細胞移植への同意書にサインをした時のことは鮮明に記憶に残っています。サインをした親である私に「息子のいのち」の全ての責任があるからです。



実際に提供を受けた「さい帯血」

移植に向け眼、肺、全身CT、脳波等、移植による影響を把握するため、検査可能なあらゆる項目の検査を行います。そして、いよいよ“移植前処置”。ここからは引き返せません。全身に放射線を照射、そして抗がん剤を投薬し、一切、血が造られない状態になります。そして提供いただいた“さい帯血”を血液を輸血する時のように輸注するのです。ほんの数ミリリットルのさい帯血が、全身をめぐる何リットルという血液を一生涯生み出すのです。



全身放射線を浴びる前の準備

血液の病気に苦しむ子どもたち、患者の為に

息子の移植は、提供受けた造血幹細胞が順調に細胞分裂し、血液成分の値が増え、結果、移植3カ月後に退院、約1年半にわたるコロナ禍の入院治療生活を乗り越え一昨年2月に退院を果たしました。

息子が入院治療生活を送る間、血液の病に苦しむ子どもとご家族を何組も目の当たりにし、何もせずにいることはできませんでした。私の呼びかけで1人が振り向いてくれるだけでもいい。その1人がいることで、希望を抱ける子どもたち、患者、家族がいるのだから、そう思い、今でも骨髄バンク、さい帯血バンクの事業支援、献血の促進、患児の治療生活と人生を捉えた活動、更には未来の治療を生み出すIPS財団への寄付も続けています。

みなさんの大切な家族が、見知らぬ誰かが提供してくれる「血」に頼らないといけない時は、かなり高い確率でおとずれます。血液製剤の用途の半分は、がん治療です。さらにその癌は、日本人の2人に1人がなる。自分自身が癌にならなくとも、大切な家族や友人が癌におかされ、誰かの血に頼らないといけない時が必ず訪れるといっても過言ではないのではないのでしょうか？



退院後、息子とのツーショット



抗がん剤投薬による脱毛

今、行動しておけば、あなた、もしくはあなたの「いのちをかけて守りたい存在」のいのちが未来において救われる可能性が高まる。多くの方がそんな想像をし、この社会課題を捉え、行動していただけたらと願っています。

献血、骨髄バンクへのドナー登録、そしてさい帯血バンクへのご協力をお願いします、「いのちをかけて守りたい存在」の為に。

臍帯血移植コーディネーターの皆様へお願い

兵庫さい帯血バンクでは、移植を受けられた患者さんからのメッセージを募集しています。

元気になられた患者さんからのメッセージは、移植を待っている患者さんやご家族への希望となり、また、臍帯血を提供いただいたお母さんや臍帯血採取協力医療機関のスタッフの喜びや励みになります。

そして、メッセージに込められた人からひとへの温かい思いが大きな輪となって全国に拡がり、誰もが臍帯血のことを知っている社会となることで、多くの人々に笑顔の日々が訪れるよう願っております。

患者さんからのメッセージの募集に、ご協力をお願いいたします。



移植医療機関への臍帯血送付時に、次の書類を同封してお送りします。

- (1) 臍帯血移植コーディネーター様へ(お願い)
- (2) 臍帯血を提供いただいたお母さんから患者さんへの応援メッセージ
「ママからのメッセージ」
- (3) 患者さん用メッセージカード
「Message to Mama」



バンクの活動報告

■神戸まつりでPR

令和6年4月21日、神戸骨髓の和を広げる会 代表 伴 智代様からお誘いいただき、神戸まつり「おまつりスクエア(東遊園地に設けられたバザーや啓発グッズの配布コーナー)」で、雨の中3名の職員がリーフレットなどを配布しながら普及啓発を行いました。



■デイジー図書の作成に協力



令和6年6月12日、視覚障がい者の方々の知識や生活の質の向上を目的に、単行本や季刊誌をはじめとしたさまざまなジャンルの本を朗読してCDに収め(デイジー図書)、提供する活動を続けている兵庫県声の図書赤十字奉仕団こすもすグループから依頼を受け、甲斐副理事長にインタビューとしてさい帯血バンクについて話をさせていただきました。CDは、8月に視覚障がい者の方々に届けられます。

令和5年度合同研修会の実施報告

令和6年3月7日(木)、採取協力施設の医師、助産師、搬送・説明ボランティアや関西学院大学宗教総部献血実行委員会の学生14名(兵庫県学生献血推進協議会)など76名にご参加いただき、国際健康開発センター3階会議室で開催しました。



グループディスカッションの普及啓発グループでは、参加した大学生からも積極的な発言があり、「将来、親になる大学生への啓発は重要。」「献血と一緒にPRするのも有効で、今後も協力していきたい。」「高校生時代に授業で取り上げて、知識として学ぶと覚えやすい。」などのご意見をいただきました。

■プログラム

開会挨拶 兵庫さい帯血バンク理事長 後藤 武
 来賓挨拶 兵庫県保健医療部薬務課長 織邊 聡 様
 講演 ① さい帯血移植の動向とバンクの活動状況 兵庫さい帯血バンク副理事長 甲斐 俊朗
 ② 臍帯血移植を体験して 医療法人社団幸信会理事長 山口 信一郎 様
 ③ 採取協力施設からの報告 親愛産婦人科副院長 小林 秋雄 様

〈休憩〉

グループディスカッション

- ① 採取技術グループ 「テーマ：臍帯血採取のコツ」
- ② ドナーリクルートグループ 「テーマ：同意を得る効果的な方法」
- ③ 搬送グループ 「テーマ：臍帯血移植の基礎知識、臍帯血搬送の留意点」
- ④ 普及啓発グループ 「さい帯血の認知度アップ」グループディスカッションの結果報告

閉会挨拶 兵庫さい帯血バンク副理事長 山崎 峰夫



①採取技術グループ



④普及啓発グループ

新任職員紹介

技術職員



たわら るい
俵 瑠

●2023年10月入職

入職して9カ月がたち、先輩方の指導により出来る仕事や臍帯血移植の知識が増えました。大切な命を救うため、多くの人に臍帯血を提供できるようこれからも仕事に取り組んでいきたいと思えます。

技術職員



たにうら みき
谷浦 未季

●2024年1月入職

1月から勤務させていただいている谷浦と申します。品質の高い臍帯血を多く保存できるように努力していきますのでよろしくお願いいたします。

経理・庶務



かげやま あつこ
陰山 敦子

●2024年1月入職

誰かの命につながる法人運営に携わることができ嬉しく思います。微力ながら精一杯努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

企画調整責任者



くさか みきお
日下 幹生

●2024年4月入職

4月からお世話になってます。造血幹細胞が持っている素晴らしい働きと臍帯血の必要性を多くの方に知っていただけるようPRに努めてまいります。

理事長あいさつ

後藤 武



わたくし、兵庫さい帯血バンクの通常総会・理事会で理事長（令和6・7年度）に再任されました。引き続き、よろしくお願いいたします。そして、読者の皆様には、何よりもまず、常日頃から兵庫バンクに対して大きなご支援・ご協力をいただいていますことに心から深くお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

昨年度、兵庫バンクでは、技術職員を大幅に増員し、年度後半から日曜・祝日の臍帯血調製保存業務を新たに開始するなど、積極的な事業展開を図りました。その結果、より多くの良質な臍帯血が集まり、移植用臍帯血の公開数、移植数ともに増加しました。このことは、臍帯血の提供に賛同していただいた3千人近くのお母さま方とごご家族、また、21の臍帯血採取協力施設の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝しています。

来年の令和7年に兵庫バンクは創設30周年を迎えます。現在、記念式典・コンサートの実施、記念誌の作成、将来構想の策定など記念事業の準備を進めています。また、今年度のハートフルコンサート（無料）は、日頃の感謝の思いを込めて、9月13日（金）、神戸市東灘区文化センター「うはらホール」で開催しますので、ご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度理事会・通常総会

令和6年6月18日（火）、国際健康開発センター5階会議室で理事会・通常総会を開催しました。

令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算、役員の選任、定款の改正、兵庫さい帯血バンク創設30周年記念事業について審議され、全て承認されました。



■臍帯血の調製保存・提供の実績と計画

年 度	R4実績	R5実績	R6計画	備 考
採取数	2,924	2,818	2,880	採取協力施設で採取した件数
搬送数	1,342	*1,425	1,425	一定以上の量が採取できてバンクに搬送された件数
保存数	358	348	350	細胞数が一定以上で検査に合格し保存できた件数
新規公開数	311	*2350	340	全国の移植医療機関に情報公開された件数
移植数	173	202	200	移植医療機関から申込みがあり移植された件数

※1 令和5年度後半から、新たに日曜・祝日の調製保存業務を開始。

※2 令和3年9月以降、幾度か調製開始基準を見直した結果、全体の保存数は微減となったが、良質な臍帯血が集まったことから公開数の大幅増となり、移植数も伸びた。

■役員の一覧（任期 令和6年7月1日～令和8年6月30日）

理 事 長	後藤 武	特任理事	大江与喜子	理 事	渡邊 美智	理 事	船戸 史子	参 与	小阪 嘉之
副理事長	甲斐 俊朗	理 事	葛西 英顕	理 事	谷勝 公代	監 事	寺谷 進	参 与	三木 均
副理事長	山崎 峰夫	理 事	明石 法彦	理 事	山下 淑子	監 事	生安 衛	参 与	川真田 伸
常務理事	小出紀久男	理 事	堅田 博行	理 事	野村めぐみ	顧 問	芦尾 長司	参 与	藤盛 好啓
常務理事	多田 昌史	理 事	高橋 隆幸	理 事	入江 成子	顧 問	丸尾 猛	参 与	松岡 広
特任理事	太田 稔明	理 事	三村 治	理 事	井手 淳子	参 与	大谷 光男	参 与	岡 憲史
特任理事	井本しおん	理 事	杉村 和朗	理 事	田中 伸明	参 与	村山 徹	参 与	松岡 謙二
特任理事	錦織千佳子	理 事	平井みどり	理 事	梅谷 順子	参 与	田中 敦子		

役員にご就任頂いた皆様には、バンク事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、令和6年6月30日をもってご退任の理事・監事の皆様方には、当バンク事業の推進に多大なご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

第8回 ハートフルコンサート

2024.9.13 (金)

18:30開演
(18:00開場)

司会 堀江 政生
(朝日放送テレビアナウンサー)



神戸市東灘区文化センター うはらホール (JR住吉駅直結)



演奏 堀江トリオ
チェロ 堀江牧生 ヴァイオリン 堀江恵太 ピアノ 堀江詩葉

曲目 ベートーヴェン
ピアノ三重奏曲第1番 第一楽章 ほか

参加ご希望の方は、法人運営部(裏表紙)あて、電話、FAX、又はE-mailでお申込みください(郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を記載)。
無料ご招待券をお送りします。

皆様の温かいご支援をお願いします

多くの皆様のご支援により設立されたNPO法人兵庫さい帯血バンクは、国庫補助金を中心とした運営をしておりますが、機器・設備の維持管理費など補助の対象にならない経費が高んでいます。円滑な事業運営のため、バンクへの財政支援をお願いします。

下のゆうちょ銀行払込取扱票のほか、インターネットからクレジット決済により寄付いただくこともできます。右のQRコードまたはバンクのホームページからアクセスをお願いします。



現金での振込には現金利用加算料金110円がかかります。
ご理解のほどよろしくお願いたします。

02 大阪		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担									
口座記号番号				金額									
0	0	9	3	0	8	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 兵庫さい帯血バンク				金額	備考								
※お払込金額の明細について、下記の番号に○印、口数、金額をご記入願います。													
1.寄付金													
2.賛助会員(個人年会費) 1口3,000円× 口 = 円													
3.賛助会員(団体年会費) 1口5,000円× 口 = 円													
★所得・法人税法上の優遇措置が受けられます。 (4)													
おとところ(郵便番号)				日附印									
ご依頼人 おなまえ				様									
(電話番号)													
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号 大第46476号) これより下部には何も記入しないでください。													

切り取らないでお出しく下さい。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	9	3	0	8	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	兵庫さい帯血バンク							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ						様	
料金	日附印							
備考								

この券簿は、大切に保管してください。

さい帯血採取協力医療機関のご紹介

母と子の上田病院 神戸市中央区国香通1-1-4 TEL 078-241-3305	パルモア病院 神戸市中央区北長狭通4-7-20 TEL 078-321-6000	神戸市立医療センター 中央市民病院 神戸市中央区港島南町2-1-1 TEL 078-302-4321	マムクリニック 神戸市北区有野町唐櫃3389 TEL 078-982-1188
済生会兵庫県病院 神戸市北区藤原台中町5-1-1 TEL 078-987-2222	神戸アドベンチスト病院 神戸市北区有野台8-4-1 TEL 078-981-0161	なでしこ レディースホスピタル 神戸市西区井吹台東町2-13 TEL 078-993-1212	久保みずき レディースクリニック 神戸市西区美賀多台3-13-8 TEL 078-961-3333
神戸市立 西神戸医療センター 神戸市西区糀台5-7-1 TEL 078-997-2200	ハーモニー レディースクリニック 神戸市西区学園西町5-2-5 TEL 078-798-1103	関西労災病院 尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221	兵庫県立 尼崎総合医療センター 尼崎市東難波町2-17-77 TEL 06-6480-7000
市立伊丹病院 伊丹市昆陽池1-100 TEL 072-777-3773	高橋産婦人科クリニック 西宮市六湛寺町15-5 TEL 0798-33-0150	兵庫医科大学病院 西宮市武庫川町1-1 TEL 0798-45-6111	兵庫県立西宮病院 西宮市六湛寺町13-9 TEL 0798-34-5151
あさぎり病院 明石市朝霧台1120-2 TEL 078-912-7575	大森産婦人科医院 高砂市伊保港町2-5-17 TEL 079-448-1103	西川産婦人科 姫路市花田町一本松165-1 TEL 079-253-2195	親愛産婦人科 姫路市網干区垣内中町260 TEL 079-271-6666
姫路聖マリア病院 姫路市仁豊野650 TEL 079-265-5111	 特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク 【臍帯血事業部】 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5 日赤合同庁舎4階 TEL 078-221-0281 FAX 078-221-0282 【法人運営部】 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター9階 TEL 078-221-0280 FAX 078-221-0580 URL https://www.saitaiketu.org E-mail saitaibk@saitaiketu.org 発行日 令和6年8月5日 発行者 後藤 武		



編集後記

「One for All, All for One」これはラグビーワールドカップで有名になった言葉です。その意味は、本来は「1人はみんなのために、みんなは1つの目標のために」と訳すのが正しいとか。この言葉を合言葉に、臍帯血を提供して下さる妊婦さん、採取協力施設のスタッフのみなさんの想いを移植を受ける患者さんに届けるため、より高品質な臍帯血の提供に向けて全員で取組んでまいります。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。